

PFI(DBM)方式		京都市左京区総合庁舎整備等事業《京都市(京都府)》		
人口:約 142 万人				
<p>■概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>区役所の老朽化、狭あい化が著しいことを受け、分散していた区役所の庁舎と、保健所を統合した新しい総合庁舎をPFI法に基づく、DBM(Design Build Maintenance)方式(基本設計は市が実施)で整備した事業。</li> </ul>				
<p>■事業実施の経緯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市では「京都市基本計画」(平成13年1月策定)において、地域のニーズや実情を踏まえて総合的に市民サービスを図るため、市民に最も身近な区役所の総合庁舎化を進めることを掲げた。</li> </ul>				
<p>■PPP/PFI手法導入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業の実施に当たって、DBM方式によるPFI事業として実施することにより、財政縮減効果や公共サービスの水準の向上が期待できることから、DBM方式を導入した。</li> <li>なお、基本設計及び資金調達は市が行う。</li> </ul>				
《事業データ》				
施設規模	敷地面積:約 7,000 m <sup>2</sup> 延床面積:約 13,200 m <sup>2</sup>			
事業方式	PFI(DBM)方式			
事業類型	サービス購入型			
事業期間	平成21年4月～平成38年3月(17年) (設計・建設:2年/維持管理・運営:15年)			
官民の役割分担	<p>【公共の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>基本設計、施設の運営</li> </ul> <p>【民間事業者の業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設整備業務(実施設計、建設、工事監理 等)</li> <li>維持管理業務(保守管理、清掃、植栽、区民交流スペースの運営 等)</li> </ul>			
	<p>〈業務分担のポイント〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設計画に公共の意向を反映するため、基本設計は公共が実施。</li> </ul>			
事業費	約 52 億円(税込、契約金額)			
VFM	特定事業選定時	約6%	事業者選定時	約2%
事業者 ◎は代表企業 ◆は地元企業	◎(株)藤井組◆、南海ビルサービス(株) 【協力企業】(株)大建設計、近建ビル管理(株)◆			
応募グループ	2 グループ			
スケジュール	平成19年4月	基本計画の策定		
	平成20年3月	実施方針		
	平成20年5月	特定事業の選定		
	平成20年5月	入札公告		
	平成20年10月	落札者決定		
	平成21年3月	事業契約の締結		
	平成23年4月	供用開始		
活用した制度等	-			
<p>■PPP/PFI 手法導入の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>省エネルギー目標の設定や運転最適化システム導入による省エネルギーのためのPDCAサイクル形成や、長期修繕計画や予防保全に関する具体的な提案がなされ、ライフサイクルコストの削減が期待できる内容となっている。</li> <li>施設の構造計画では、基本設計と異なるプレストレストコンクリート構造を一部に採用することで高強度の躯体とするなど、民間事業者が有する独自の技術的ノウハウを活用した提案がなされた。</li> </ul>				

■ 地域経済の活性化

- ・左京区の伝統行事を表現するアートワークの設置等, 内部空間のデザインにおいて地域性に配慮した多くの具体的な工夫がみられたほか、地元産木材の使用等が提案された。



(出所)京都市公表資料

■ 参考URL

- ・(京都市HP) <http://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000002803.html>